

悩み2

やる気のない先生がいたり、
先生同士の足並みが
なかなかそろわず、
仕事が進まなくて大変です。

さわやか、前向き、
フレッシュにお願い！

生徒の将来を真剣に考え、生徒指導に意欲をもって取り組んでいる先生であればこそ、周囲にいる意欲の低下している教員を見ると、カリカリしてしまうものです。それは、自分の熱心さや、プライドの表れなんですね。熱心に物事に取り組んでいる人が、熱心でない人にイライラするのは当然です。

しかし、ただイライラしていたのでは始まりません。じゃあどうするか。一つには、「ご自分が管理職になるという方法があります。リーダーシップをとる立場になれば、言われた人も「仕方ない」と思ってくれることもある。そこで、いつかこの学校のトップに立つて、学校を変えるんだ」と目標をもつてはいいがでしょう。

一方、そんな先まで待てないという場合は、とにかく発言をボジティブにしていくことです。



「どうしてできないんですか」では反感を買うだけ。対教員は、批判すると逆効果なんです。「先生、もしよかつたら、こんなふうにして下さることでもうれしいんですけどね」と笑顔でお願いしてみることにしましょう。

ポイントは3つ。
①「歩下がって」
②してほしいことを具体的に
③笑顔で「お願い」口調で「伝えること」。
教員は他の人からの指示命令を嫌います。他の人にしてほしいことは、「具体的に」「お願い口調で」が「ツですよ。

もろみ・よしひこ ●明治大学文学部教授、臨床心理士、教育学博士。1963年福岡県生まれ。筑波大学人間学類・同大学院博士課程修了。千葉大学教育学部助教授を経て現職。全国の悩める教師のためのセルフヘルピングやネットワーキングを支援する「教師を支える会」代表。時代の精神(ニヒリズム)と闘うカウンセラー。『偶然をチャンスに変える生き方 最新キャリア心理学に学ぶ』、『「7つの力」を育てるキャリア教育』など著書多数。